



保護者の皆様へのお願い

すべては子ども達の成長のため、選手がサッカーに専念できる環境を作り、クラブとして円滑に活動を進められるよう、趣旨をご理解いただき、以下の5つの事項について、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 原則として、活動中の選手たちとは待機場所、荷物置場から離れていただき、必要以上に関わらず、見守ってください。自主性を育てる良いトレーニングになると考えています。

2 クラブへの相談はいつでもお受けしておりますが、チーム方針・選手の起用方法・戦略等へのご質問・ご意見につきましては、一切お受けいたしません。

サッカーは団体スポーツです。保護者様の言動・態度により、団体の秩序を保つことが難しいと判断した場合は、お子様のお預かりをクラブ側からお断りさせていただくこともございますので、あらかじめご了承ください。

近年は様々な特徴を持ったサッカーチームがあり、学区を超えて選手本人やご家族がチームを選べる時代です。ぜひそれぞれのお子様にあった環境でサッカーをすること、サッカーを好きでいてくれる気持ちを大切にいただければと思います。

ご家庭によって、重要視するポイントが「今」なのか？「その先」なのか？「両方」なのか？それぞれのお考えがあると思います。チームによって、活動方針や目的は様々ですので、所属するチーム選びは慎重に行うことをお勧めします。なお、そのようなご相談はいつでもお受けしますので、お気軽にスタッフにお声掛けください。その上で、大富士FCを選択していただければ幸いです。

3 試合中、応援サイドから保護者の方が審判への判定に対して声を上げたり、子ども達のプレーについて指示をすることは一切しないようお願いいたします。

また、試合の合間など、活動中に試合内容やプレーについて、ご自身のお子さんにアドバイス等をするのもお控えください。ミスをした後に、ご家族の表情を気にする子が出てきてしまい、自分自身で「考える」力が身に付かないからです。

逆に、迷いのない積極的なプレー、思い切ったプレーがあった時の拍手や歓声は、子ども達の大きな力になりますので、是非よろしくをお願いいたします。

4 サッカーのグラウンドでは、選手1人1人が主役であり、対岸からは決して見えることのない選手たち同士の「社会」が築かれます。

そして、日々の活動を続けていくうちに、行動を共にした選手同士、選手と指導者との間にしか分かり得ないこと、言葉、空気感、信頼関係がたくさん醸成されます。

長いジュニア年代のサッカーのチーム活動においては、「試合に出る・出ない」「試合中にうまくいかず、また、自分の思いをうまく仲間に表現することができず、選手同士がギクシャクする」という時期は必ず起こり得ます。

そこを子どもたち同士（時には指導者も加わりながら）で考え、乗り越え成長していくことが、子どもたちのその先の人生においてかけがえのない経験値（財産）となると考えていますので、決して一時の大人のものさしで判断せず、どうか活動の一部始終を長い目で温かく見守ってあげていただきたいと思います（子どもが行う活動ですので、大人が忍耐力を要する場面は多々出てきます。）。

たとえば、ジュニアサッカーは、8人制という人数の限られたスポーツですので、どうしても控えの機会が多い子どもたちは出てきます。しかし、その子たちは、ベンチにいても、指導者との会話に耳を傾け、次は自分が！という輝いた目で、やる気に溢れた姿勢で一緒に戦ってくれています。

保護者の皆様には、ぜひ、いろいろな形の我が子の頑張りを見付けていただき、お子さんをほめてあげてください。

もちろん、すべての選手がより多くの試合経験を積めるよう、スタッフは日々試合数の確保に努めます。

5 他人やチームの悪口や噂話はしないでください。

人間関係の基本ですが、たとえ、自分が良かれと思って発した言葉であっても、違った意味で相手に伝わってしまうことがあります。ぜひとも、親同士、互いを尊重し合い、適度な距離を保ってください。

あくまで子どもがサッカーをするために皆様がその場にいることを忘れないことが大切であり、真の目的は、サッカーをするお子さんを応援することです。決して親同士が仲良くする（その逆もしかり）ためにある活動ではないことを常に念頭に置いていただければと思います。

過去のケースをみても、いつの間にかこの優先順位が違ってしまふことから親同士のトラブルに発展し、親同士の関係の悪化は、やがて子ども達に伝わり、選手のプレーにも大きく影響していきます。

チーム活動を行う上で保護者の皆様にご協力いただく場面は少なからず出てきますが、優先順位をぶらすことなく、良好な親同士の関係性を築いてくださるよう、くれぐれもお願い申し上げます。